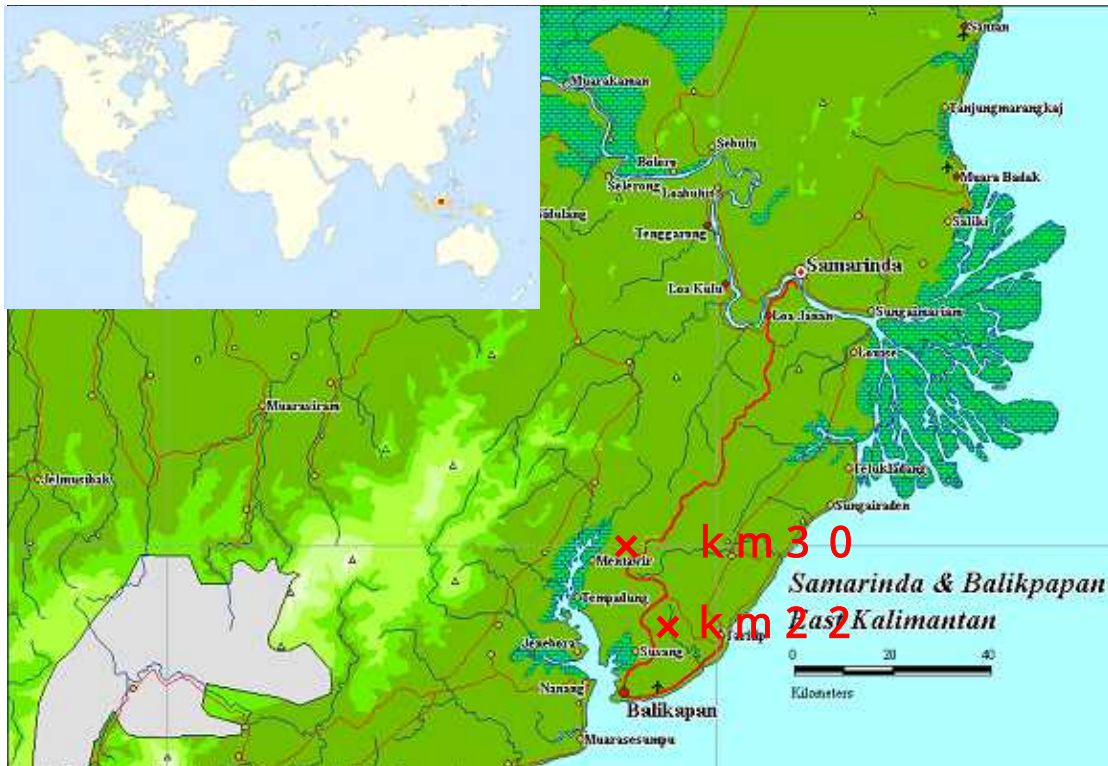


「樹林」の「特別募集」を開始いたします

7月1日より弊社植林商品の「樹林」を限定50口だけ募集を開始いたします。
 バリックpapan市からサマリダ街道（旧日本軍が行軍した街道沿い）22kmの現地パートナーPTカルティメックス ジャヤ社所有地に2002年に植林したゴールデンバイオーク®4000本=40口【100本/口】です。伐採収穫は2016年を予定しております。（購入後7年後となります）また、さらに8kmサマリダ寄りのkm30のサンボジャ地区の1000本=10口も同じ条件での募集販売を行います。



樹林1口 = GBチーク100本と地場の樹種100本のセット = 939坪の「生命の森づくり」に貢献

ゴールデンバイオーク® 植林地 (km30)



ゴールデンバイオーク®の現況イメージ胸の高さの平均直径7.5cm高さ4~7mです。3×4mに1本植林1200㎡(333坪)の面積の草原が樹林に回復します【写真左】

熱帯雨林再生のための樹下植林の現況イメージです。現場は国立ムラワルマン大学の演習林。樹種は地場の主要樹種メランティでこの木は伐採せず次世代に残す森になります。20㎡に1本植林していますので2000㎡(約606坪)の天然林の保護修復に貢献【写真右】

天然保護林への 樹下植林地



Km 22 & 30 地区植林分「樹林」特別募集

場 所: インドネシア東カリマンタン州サンボジャ地区
地権者: PT Kaltimex Jaya社
契約形態: 弊社現地パートナーカルティメックス社保有地の植林分の
ゴールデンバイオチーク®立木所有権の譲渡
樹齡: 満期 7 年もの ゴールデンバイオチーク®植林木 3 年生
今回募集口数: 限定 50 口

熱帯雨林保護のための寄附植林 100 本+ゴールデンバイオチーク 100 本の
セット参加になります。なお、立木の所有権はゴールデンバイオチーク®のみです。
立木の現在の形状: 平均胸高直径: 7.5cm 樹高 4m です。

特別価格: 500,000 円 / 口

募集期間: 完売になり次第終了

お支払い: 申込み受付後、当社よりの請求書受理後、お振込み

証書引渡時期: 契約完了・入金確認後

契約手続: 申込み、ご入金後ご契約となります。

その他 満期時収入予想

(お金がお金を生む商品では在りませんが、生長した木材の対価が還元されます)
7年後伐採・再植林費用を控除後、分配金予想木材の販売先は
インドネシア家具木工組合を予定

伐採予定 = 2016 年 (7年後)
伐採時サイズ: 直径30cm、長10m
見込み材積 = 0.3m³ / 本
木材販売予想価格 = US\$400 / m³のとき
販売予想収入 = 伐採費用 + 付加価値税等諸税差引き = 約 10,136 円 / 本ですが
この金額から伐採後の再植林費用 2000 円を控除し = 約 8,000 円 / 本が、最終
還元予想金額になります。

参考: 現在、インドネシア政府公表のチーク製品最低輸出価格 US\$995 ドルです。
これから丸太価格を算出しますと約 US\$400/m³前後になります。

商品紹介ページはこちら <http://www.vivo.co.jp/project/eco5.html>



ビーボコーポレーション 海外植林事業部

042 - 465 - 7563

FAX 042 - 465 - 7277

〒188 - 0011 東京都西東京田無町 3 - 5 - 4 E-mail info@vivo.jp

みなさまに「樹林」に参加して 頂くことで生まれる期待・効果



熱帯雨林をこれ以上減少させないで再生する = 1口で約 939 坪再生貢献

伐採で疎林になった林
将来・主木に育つ樹種がない



ここに植林



樹下植林の現場と植林木
4m × 5m = 20 m²に 1 本植林
(寄附植林 100 本負担して頂きます)
荒廃したジャングル

本来の熱帯雨林の姿



熱帯雨林の再生

10年で 150 kg、30年で約 3150 kg / 本の CO₂ 吸収・酸素はそれぞれ 109 kg、2290 kg / 本放出

生物多様性
の維持・生態
系サービス

エコロジー
社会的価値

生物多様性の維持
熱帯雨林の維持・再生
雇用機会の創出
地球環境の保全

&
+

エコノミー
経済的価値

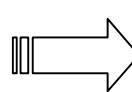
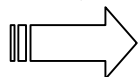
草原地の有効活用
持続的な木材供給
雇用機会の創出
土壌の保全

持続可能な高級
家具・木工・建
材用木材の供給

チークの植林は 10 年で約 1261 kg / 本の CO₂ を吸収、約 917kg の酸素を放出。



3 × 4m に 1 本
植林約 363 坪
の草原の再生
に貢献(100 本



植林から 10 年後
伐採木材利用
再植林

10 年後の木材の大きさは
胸高直径 30cm × 高さ 10m
収穫材積 = 0.3 m³の予想



チーク丸太相場は堅調で現在 US\$400 / m³、US\$120 / 本伐採経費控除後 US\$80 / 本の予定
商品紹介ページはこちら <http://www.vivo.co.jp/project/eco5.html>

拡大するインドネシアへの産業植林投資

2009/06/29-14:06: 時事通信より

インドネシア、産業造林投資が好調 = 林業省

【ジャカルタ29日時事】29日付のビジネス・インドネシア紙(i6面)によると、林業省のサントサ産業造林開発局長はこのほど、パルプ原料などを生産する産業造林(HTI)分野への投資額(承認ベース)が1~5月は6兆1860億ルピア(約580億円)に達し、前年同期の3兆5310億ルピアから大幅に増えたことを明らかにした。

投資企業は24社で、開発面積は97万2400ヘクタール、雇用者数は6712人。同省は投資環境改善をアピールするため、産業造林への投資機会を大々的に開放している。

全国の産業造林面積は現時点で420万ヘクタール。ユドヨノ政権は以前、今年末までに500万ヘクタールを達成する目標を掲げており、年内に80万ヘクタールの追加を目指している。(了)

経済成長で高い評価

世界的に厳しい世界経済状況の中でも、インドネシアの一般経済状況も好調で欧米中心に評価が高まっています。

2009年6月23日・世界日報より

インドネシア

【ジャカルタ22日時事】インドネシアの経済成長に関する国際的評価がにわか

に高まっている。6月に入り、国際通貨基金(IMF)が今年の同国成長率予測をこれまでの2・5%から3・4%に上方修正。また、米金融大手モルガン・スタンレーもインドネシアがBRICs(ブラジル、ロシア、インド、中国)など成長の著しい新興市場国の仲間入りを果たす可能性があるとこのレポートを公表、インドネシアのムルヤニ財務相はこれを受け、2011年には経済成長率7%の達成も可能と自信を示している。

IMFは上方修正の理由について、「金融危機下の

経済成長でにわかに高評価

BRICs入りの指摘も

政策課題に政府と中央銀行が効果的に対応した。昨年12月以降の中銀の利下げが適切だった」と評価。また、モルガン・スタンレーは資本コストの低下や政権安定を肯定的要因として挙げ、11年からの経済成長が6~7%に加速する可能性を指摘した。

インドネシア商工会議所の特別アドバイザーとしてジャカルタに駐在するアジア経済研究所の佐藤百合主任研究員は「欧米メディアなどが最近インドネシア経済を急に高く評価し始めたのは、4月総選挙でユドヨノ大統領を擁する民主党が勝利したから。資源や人口の多さなどの潜在力を考えれば特に驚くことではなく、むしろ日本の財界などは出遅れていることに気付いたほうがいい」と語った。